

## 創立100周年を迎えた伝統校 「学校完結型」の教育環境を整備

安田財閥創始者の安田善次郎翁が創立した、中高一貫の安田学園。近年は進学校として高い実績を誇る。2023年に創立100周年を迎え、「学校完結型」の学習環境整備に、より拍車がかかっている。

### 共学化から8年が経過 都内有数の進学校へ

自ら考え学び、創造的学力を形成し人間力を育む「自学創造」の教育目標を掲げる安田学園中学校。2014年度に共学化し、現在は男子6・女子4の割合で生徒が在籍する。「共学化を通じて学業だけではなく生徒会、部活動など学校全体が活性化しました。プラスの

手応えを実感しています」と振り返るのは、稲村隆雄校長だ。例えば、現役卒業生の大学合格実績。国立大学・早慶上理ICUの合格者数は、18年の52名から21年は115名、22年は159名にまで増えている。

「22年は東京大学に3名合格しました。いずれも中高一貫の生徒ですが、これに合わせる形で高等部生徒の成績も上がり、全体的に学力が向上しています」

同校ではこれまで最難関国立大を目指す「先進」と、国立大・難関私立大を目指す「総合」の2コース制だったが、23年度からは先進に一本化。進学校としてさらなる飛躍を目指す。

### 創立100周年を迎え 教育環境をさらに充実

23年には創立100周年を迎えた。これに伴い同年度入学生から制服をリニューアル。エンブレムは生徒から募集したデザインを採用し、女子の制服組み

合わせは124通り以上と、自主性と個性を引き出す多彩なコーディネートを実現している。「食堂を改装して自習室やグループディスカッションの場、カフェを設けたり学校の歴史が分かる安田記念館も開設します」。

事業を通じて目指すのは、かねてより掲げる「学校完結型」の教育環境のさらなる充実だ。実のところ、先に挙げた3名の東大合格者は塾に通っていない。「日々の授業内容の定着度と学習習慣を確認するチェックテストや放課後補習を行い、夏期・冬期の長期休暇中には英・数・国の講習も実施しています」

進学に向けては大学入試演習を中心とした放課後進学講座や進学合宿なども開催。普段も中学生は18時まで、高校生は19時45分まで学校に残って自習することができ、卒業生がチューターとなり学習をサポートする体制も整っている。

学年の担任教諭は6年間ほぼ

変わらず、定期的に2者面談を実施。個々の生徒の成長スピードに合わせて、学校生活全般をきめ細かに指導する。気付いた疑問に対して論理的に学ぶ「探究プログラム」では、航空科学博物館で飛行機の仕組みを学んだ上で生徒が模型を作り飛距離を競うなど、学外に出て学ぶ機会をふんだんに用意。ニュージーランド・オーストラリアの高校で3カ月間過ごす短期留学などもコロナ禍を経て再開した。

クラブ活動も活発だ。生物クラブはハチの研究が伝統で、国際学生科学技術フェアに日本代表として出場。卓球や柔道、バレーボールは東京都や全国大会で優秀な成績を収めている。

学び・体験・課外活動に没頭する6年間を送ることができる安田学園中学校。学びを通じて身に付けた自学創造の姿勢は、進学先だけではなく、社会に出たときにも役立つに違いない。

学年の担任教諭は6年間ほぼ



南館（中学棟）は窓を広く取り、光あふれる明るい校舎となっている

### SCHOOL DATA

設立	1923年
併設校	安田学園高等学校
生徒数	(1年) 220名
クラス編成	30~35名
授業時間	8:15~14:55 (土) ~12:30

海外交流校	無	帰国生入試	無
男女比	男57% 女43%		
交通	両国駅 (JR総武線) 徒歩6分 両国駅 (都営地下鉄大江戸線) 徒歩3分 蔵前駅 (都営地下鉄浅草線) 徒歩10分		

大学合格実績 (過去3年間) 東京、東京工業、一橋、お茶の水女子、東京外国語、大阪、京都、東北、千葉、筑波、九州、横浜国立、東京都立、早稲田、慶應義塾、上智、東京理科、国際基督教、学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政など

所在地 ▶ 〒130-8615 東京都墨田区横網2-2-25 TEL ▶ 03-3624-2666 URL ▶ <https://www.yasuda.ed.jp/>